



Center of technology

～ 愚直なまでにまっすぐな技術開発 ～

株式会社 センテック
代表取締役 長谷部 洋治

お客様の技術ニーズを丁寧に把握し、徹底した現場主義を貫き、確かな技術力で顧客満足度 No.1企業をめざします！

1982年創業時より、自動粘度計、定量吐出装置、蛍光センサー、血清量測定装置等、各種精密測定装置を開発、製造してきました。

化学物性、流体力学、光学技術などの専門技術を駆使し、大手化学メーカーや国立大学研究機関等からの難易度の高い特殊な開発依頼にも、迅速かつ的確に対応する体制を構築しています。

大量生産や消費型の製



毛細管式自動粘度計



新開発UV樹脂硬化センサー

品製造を目指すのではなく、当社でしかできない商品を心をこめて開発、製作し、世に送り出すことを、心からの誇りとしています。

新開発のUV樹脂硬化センサーは、UV樹脂の硬化度合を、その樹脂から発せられる蛍光量を測定して判別するという画期的な製品です。その新規性ゆえにまだ、市場で市民権を得ておりませんが、今後浸透し、皆様のお役に立てることを信じています。

株式会社 センテック

〒573-0164 枚方市長尾谷町1丁目3 2 - 1

TEL 072-836-0031

FAX 072-836-0033

URL <http://osaka-sentech.com/>



ATAC
ひと言

中小企業の専門教育 ATACが指導できる専門分野シリーズ

その2「設計」

改正消費生活用製品安全法が今年（09年）4月から施行されました。08年11月に改正されたものです。この改正の原因になったのは07年8月に約30年以上前(1970年)に造られた扇風機が原因の火災で2人が亡くなったことによるものです。

今回の改正の要点は、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、特に重大な危害を及ぼすおそれの多い9品目について点検制度が設けられました。経年劣化による重大事故発生率は高くないものの、事故件数が多い製品5品目について、設計上の標準使用期間と経年劣化についての注意喚起等の表示が義務化されました。

前記の扇風機の場合、メーカーに法的な責任はありません、製造物責任（PL）法による損害賠償責任が企業に生じるのは対象製品の製造後10年以内です。30年間動いていたという事実は、一般的には品質の良さを示す好例ですが、

しかし出火や、人身事故の発生は最大のリスクになります。製品の設計技術者が品質に注意しなければならぬのは、当然ですが、その製品が働いている時のみでなく、廃棄された後も安全性に配慮することが求められます。

「中堅・中小企業へのATAC提言集(6)設計を考える」では製品設計の際に設計された機器や製・商品が本当に設計者の意思どおり品質のよい、またそれにふさわしい原価で製作され、そして顧客が安全・安心に使用し、満足できるものになっているかなど、設計にまつわる周辺のことを書き表したもので、多くの失敗から生まれたノウハウ集または設計のべからず集といった類のものです。

ATACではこの提言集をテキストとして、最近の動きも交えて、社内の勉強会、研修会などでお話することが出来ます。なお、「ATAC提言集」をご希望の方は事務局にご連絡下さい。（藪野記）